

# ぐらぐらっ 突然地震が!! 自主防災会行動マニュアル

震度5弱以上の地震が発生、若しくは地域内で被害が発生したら、自主防災会が立ち上がります。震度5弱以上の地震が発生した場合には、同報無線で震度の大きさをお知らせします。

各個人の行動	経過時間	
<p>① まず、身を守る</p> <p>② 揺れが収まったら火の始末</p> <p>③ 津波に関する情報が発表された場合、強い揺れや、弱くても長い揺れがあった場合など、津波避難の考え方は、津波の危険がない地域への避難を原則とする。また、周囲の状況を常に確認してより高い場所へ避難ができる体制とする。</p> <p>④ 山・崖崩れの危険が予想される場合は即避難する</p> <p>⑤ 家族の安全を確認</p> <p>⑥ 火元の確認（ガスの元栓を閉める。電気のスイッチ・ブレーカーを切る。）</p>	<p>地震発生!!</p> <p>津波発生!!</p> <p>1分 ～ 2分</p>	<p>◆津波避難基準◆</p> <p>津波に関する情報が発表された時は</p> <p>①津波注意報 … 海岸から離れる</p> <p>②津波警報 … 沿岸部等から避難</p> <p>③大津波警報 … 速やかに避難</p> <p>強い揺れや、弱くても長い揺れがあった場合は、… 自主避難</p> <p>【予想される現象】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立っているのが難しい</li> <li>・タイル壁や窓ガラスが割れる</li> <li>・ドアが開かなくなる</li> </ul> <p>警報が解除されるまでは自宅や海岸付近へ戻らない</p>
<p>⑦ 隣近所へ声をかける 近所に火は出していないか確認する</p> <p>⑧ 火が出ていたら大声で知らせる</p> <p>⑨ 黄色いハンカチを道路から見える場所に掲げる（家族全員の安全が確認できた場合）</p>	<p>5分～</p>	<p>自主防災会の行動</p> <p>《自主防災会の行動開始》</p> <p>① 隣近所で助け合う（災害時要援護者の安全確保・避難支援。行方不明者、けが人はいないか確認）・・・安否確認</p> <p>② 出火防止を呼びかける</p> <p>③ 初期消火を行う</p>
<p>⑩ みんなで消火・救出活動</p> <p>⑪ ラジオや同報無線放送で正しい情報を確認する</p> <p>⑫ 自宅が壊れた場合は自主防災会の指定する避難地へ避難する</p> <p>⑬ 自主防災会の避難地で生活出来ない場合は、市が指定する広域避難地へ避難する</p> <p>津波警報解除後、自宅が流失・倒壊し帰宅できない場合は、広域避難所へ</p>	<p>10分 ～ 数時間</p>	<p>④ 救出・救助活動 （先ず黄色いハンカチが出ていない家）</p> <p>⑤ 負傷者の応急救護や救護所への搬送</p> <p>⑥ 自主防災会本部の立ち上げ</p> <p>⑦ 地域内の被害状況の収集</p> <p>⑧ 災害対策支部（広域避難地）へ地域内の被害状況を報告する</p> <p>⑨ 市からの情報を住民へ正しく伝える</p>
<p>⑭ 自主防災会に協力して、秩序ある避難生活を行う</p> <p>⑮ 水・食料は個人が蓄えている物を利用する</p>	<p>数時間 ～ 数日</p>	<p>⑩ 自主防災会の避難地運営を行う</p> <p>⑪ 支部員、学校関係者と協力し、広域避難地の運営を行う</p> <p>⑫ 広域避難地運営マニュアルに沿った秩序ある避難地の運営を行う</p> <p>⑬ 災害時要援護者に配慮する</p> <p>⑭ 災害ボランティアとの共助</p>